

杉野のみんなの手作り

横山岳カントリー倶楽部

No.35



説明

横山岳カントリー倶楽部は、杉野の荒れていく土地の環境を少しでも有効活用し、みんなが集まって楽しめるような場所をつくろうという思いから、平成21年(2009年)頃に杉野の有志8人ほどが集まって、約1週間かけて作られたそうです。最初の地面を削ったり、ならしたりする作業は業者に依頼したそうですが、あとの芝生植え、ネット張り、看板の設置などの作業はすべて手作業だそうです。お金もみんなで少しずつ出し合って作られたそうです。

今は火曜日と金曜日の週二回ほど利用されており、ゴルフ倶楽部の会員は、杉野の60才から70才の35名おられるそうです。今も管理されている二之宮宗太郎さんは、これからも大切に管理しながら続けていき、新しい人が増えてくれることを楽しみにしておられます。

選んだ理由

私は、杉野の田舎になぜゴルフができるところがあるのか不思議だと思って調べました。すると杉野の事を考えて作られたことを聞きとても感心しました。また宗太郎さんは、地域の行事の記事や写真をまとめて学校の掲示物として提供してくださったり、自宅の前に電飾をして子どもたちと点灯式をしたりして、地域の活性化のためにいろいろと努力されています。そんな宗太郎さんたちが作った横山岳カントリー倶楽部をこれからも大切にしてほしいと思って選びました。そして私はこのリーフレットを作って「元気なふるさとはいつまでも美しくあってほしい」という思いをもちました。